

日本鉄鋼協会記事

理 事 会

第1回理事会 開催日：4月3日。出席者：石原会長，ほか 58 名。

1. 金属学会との連絡懇談会報告
 - 秋季講演大会
10月4日～6日 新潟大会
 - 来春の講演大会
4月はじめで日は未定 東京大学
 - 来秋の講演大会
10月中旬で日は未定 名古屋大学
2. 昭和 60 年度新素材の試験，評価事業に関する補助事業，補助金受入れの件
補助金の受入れについては企画委員会で討議願ひ，可否は企画委員会に一任することになった。

企 画 委 員 会

第1回委員会 開催日：4月17日。出席者：栗田委員長，ほか 23 名。

1. 昭和 60 年度新素材の試験・評価事業に関する補助金受入れについて
事業費総額 7350 千円，内補助金 5500 千円の受入れを決定した。
2. 湯川記念講演会について
Prof. Dr. M. C. Flemings (MIT) が今秋の講演大会に参加されるのでこの機会に湯川記念講演を依頼することになった。
3. 日本，カナダセミナー開催の件
The Canadian Steel Industry Research Association から Secondary Steelmaking に関して日本とのセミナーを開催してほしい旨申し入れがあった。検討の結果受入れることとし，時期は今年の 11～12 月を予定する。

編 集 委 員 会

第2回編集運営委員会 開催日：4月12日。出席者：宮川前委員長，ほか 17 名。

1. 各分科会の活動報告がなされ，和文会誌分科会からは「鉄と鋼」の特集号について，欧文会誌分科会からは技術用語の収集について，講演大会分科会からは第 109 回大会についての報告がなされた。

2. Materials Processing 小委員会の業務および委員会構成について討議がなされた。

第2回和文会誌分科会 開催日：4月12日。出席者：宮川前主査，ほか 24 名。

1. 18件の論文審査報告がなされ，掲載決定14件，照会后掲載可2件，その他2件であった。
2. 「鉄と鋼」第71年第10号（8月号）に論文11件，技術報告1件掲載決定した。

第2回欧文会誌分科会 開催日：4月11日。出席者：大森主査，ほか 17 名。

1. 17件の原稿につき審査報告がなされ，掲載可4件，照会后掲載可1件，修正依頼9件，返却3件であった。

共 同 研 究 会

鋼板部会

コールドストリップ分科会第7回レバースミル見学会
開催日：4月12日。開催地：大洋製鋼・船橋。出席者：旭岡主査直属幹事，ほか 43 名。

今回はテーマ「歩留向上対策について」アンケート調査を行い各社ミルについて比較を行った。各社の歩留向上対策では現場の生々しい意見が交換された。工場見学では 6-High ミルをつぶさに見学できたいへん有意義であった。レバースミル見学会も予定としてあと1回を残すのみとなり今後の運営について検討したい。

第89回計測部会 開催日：3月19～20日。開催地：東洋鋼鉄・下松。出席者：中倉部会長，ほか 126 名

1. 議題

- (1) 製鉄関係
- (2) 製鋼関係
- (3) 圧延関係
- (4) 製品・半製品の検査（探傷）
- (5) 計測制御に関する新技術
- (6) 計測制御に関する保全技術

品質管理部会

第22回非破壊検査小委員会 開催日：3月28～29日。開催地：大同・知多。出席者：伊庭委員長，ほか55名。

1. WG および連絡会活動報告
2. 共通議題Ⅰ「探傷作業における不感帯の現状およびその対策」
3. 共通議題Ⅱ「生産現場における対比試験片の現状と問題点」

標 準 化 委 員 会

第1回鋼材表面欠陥分科会 開催日：3月26日。出席者：梅原主査，ほか 11 名。

1. 連铸比率の向上，現状との整合を主眼とした鋼材の形状及び外観きず用語の定義の改正を行う。
2. ぶりき及び亜鉛鉄板・着色亜鉛鉄板についても見直し検討を進めるよう関係機関に依頼する。
3. 鋼管については今回改正は行わない。
4. 改正する用語については，対応する用語の比較表を各社分担で作成し，形態及び特徴と備考から検討を進める。
5. 分科会案作成後共研各分科会幹事との調整及び協議を行う。
6. 次回 4月23日

高温強度研究委員会

- 第 11 回切欠き効果試験分科会** 開催日：4月9日。
 出席者：大南主査，ほか 23 名。
1. 今年度の研究の進め方について
 今年度の研究計画をもとに，出席メンバー全員にメンバーの実験能力および解析能力をヒヤリングしたが，主査・幹事で別途実施計画をまとめることになった。
 2. 文献の紹介（2件）

第 8 回熱延プロセス冶金研究委員会

- 開催日：3月18日。出席者：田村委員長，ほか 14 名。
1. オーステナイト系ステンレス鋼の熱延時再結晶
 2. γ - α 変態における粒径変換比
 3. Dual Phase 鋼の強度，延性と厚鋼板，線材，棒鋼への適用

第 1 回国際鉄鋼技術委員会

- 開催日：4月8日。出席者：石原委員長，ほか 10 名。
 第 17 回 IISI 技術委員会への日本提出論文に関する審議，および，第 18 回 IISI 技術委員会(1986年4月)日本開催の基本方針の審議を行った。

鉄鋼技術情報センター

- 図書資料委員会 第13回 WG2** 開催日：4月17日。
 出席者：西垣チーフ，ほか 13 名。
1. 鉄共研資料索引（含抄録）の入力原稿の作成について
 2. BISITS Translation について（野田 WG3 チーフ）
 3. その他

鉄鋼基礎共同研究会

- 第 4 回鉄鋼の急速凝固部会** 開催日：3月19日。出席者：大中部会長，ほか 31 名。
1. 急速凝固におけるデンドライト組織
 2. 非晶質合金の高分解能電顕観察
 3. 温度計測の現状について
 4. 双ロール法による薄板の製造方法
 5. ワイヤの製造技術と材質

日本圧力容器研究会議

- 第 22 回水素脆化専門委員会** 開催日：3月25日。出席者：乙黒委員長，ほか 11 名。
1. 運営委員会報告
 2. タスクグループ報告
 T/G IV—水素侵食
 T/G V—水素侵食試験方法
 3. S. 60 年度予算
- 第 35 回圧力容器用鋼材専門委員会**
 開催日：4月9日。出席者：小指委員長，ほか 15 名。
1. PVRC Winter Meeting 出席報告
 2. 共同研究（「溶接継手部の靱性支配要因」）
 3. TMCP 鋼データサーベイ
 4. S. 60 年度予算
- 第 30 回非破壊試験専門委員会**
 開催日：4月15日。出席者：雑賀委員長，ほか 13 名。
1. Round Robin Test 方案
 2. PISC II 試験データの検討
 3. S. 60 年度予算

原稿用紙，合本ファイル有償頒布について

1. 原稿用紙（鉄と鋼用本文用紙 50 枚・図面用紙 16 枚綴） 1冊 500 円（〒350 円），2, 3 冊（〒700 円）
 2. 図面用紙（鉄と鋼用 50 枚綴） 1冊 500 円（〒350 円），2, 3 冊（〒700 円）
 3. 講演前刷用原稿用紙 鉄と鋼用（1枚 30 円），Transactions ISIJ 用（1枚 30 円）
- 郵送頒布の場合は下記のとおり枚数を限定させていただきます。なお 50 枚以上の場合は係までお問合せ下さい。

	10 枚	20 枚	30 枚	40 枚	50 枚	備 考
鉄 と 鋼 用	540 円	950 円	1250 円	1550 円	2200 円	} 料金は送料込み
Transactions 用	540 円	840 円	1250 円	1550 円	1850 円	

4. 「鉄と鋼」用合本ファイル 1冊 会員 330 円 非会員 360 円（送料別）
5. 申込方法 ①原稿用紙の種類，②枚数，③送付先明記のうえ，④料金（1000 円以内は切手でも可）を添えお申し込み下さい。
6. 申込先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階 日本鉄鋼協会庶務課